

# 日本手術看護学会九州地区研修会報告

平成27年2月21日土曜日に、ナースプラザ福岡で日本手術看護学会九州地区研修会「理由がわかる体温管理」を行いました。その内容とアンケートの結果について報告致します。

まず「体温管理の基礎知識」「体温管理の実際」についての講義を行い、その後、事例をもとに手術前・中・後の観察や実施計画を考えるグループワークを行いました。今回は九州圏内から78名の方のご参加をいただき盛況に終了しました。

## 講演1：体温管理の基礎知識

講師：村上 智子 手術看護認定看護師  
(大分県立病院)

人間の体温調節機能、麻酔・手術が及ぼす影響、シバリングが起こる原理など体温管理に必要な基礎知識について講義しました。また、周術期の体温管理の重要性や手術室看護師に求められる役割、看護計画立案に必要な術前情報について講義し、次の『体温管理の実際』につなげられるような内容でした。



## 講演2：体温管理の実際

講師：佐古 直美 手術看護認定看護師  
(北九州市立医療センター)

体温測定方法選択のポイントや術中低体温予防対策、シバリング対策など、より実践的な内容で講義を行いました。

また、実際に経験した事例をもとに術前情報のアセスメントから看護計画立案、術後の経過まで事例展開し、次のグループワークにつなげられるような内容でした。



## グループディスカッション：「体温管理について事例検討」

各グループに分かれ、患者事例をもとに手術前・中・後のリスク評価を行い、観察項目・実施項目を専用の記録用紙に記載してもらいました。

司会：木村綾乃 手術看護認定看護師  
(済生会福岡総合病院)

グループディスカッションではアセスメントと看護計画立案を行っていただきました。情報の整理やアセスメント、周術期を通した看護の視点など、認定看護師によるファシリテートもあり活発な意見が出ました。

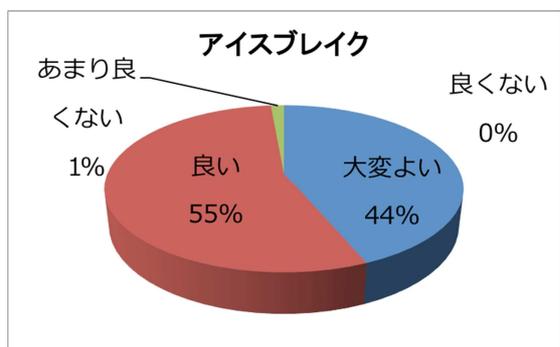
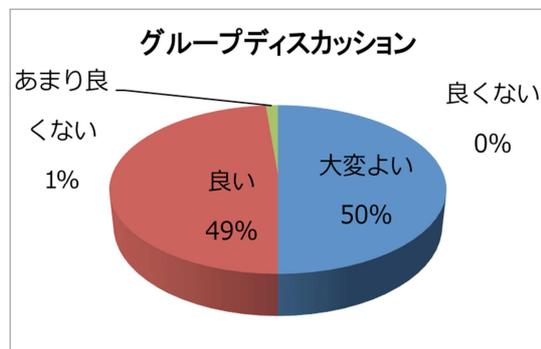
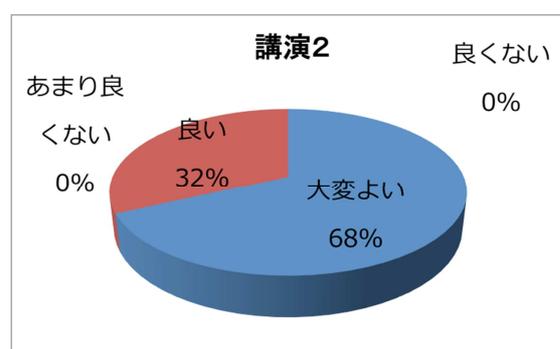
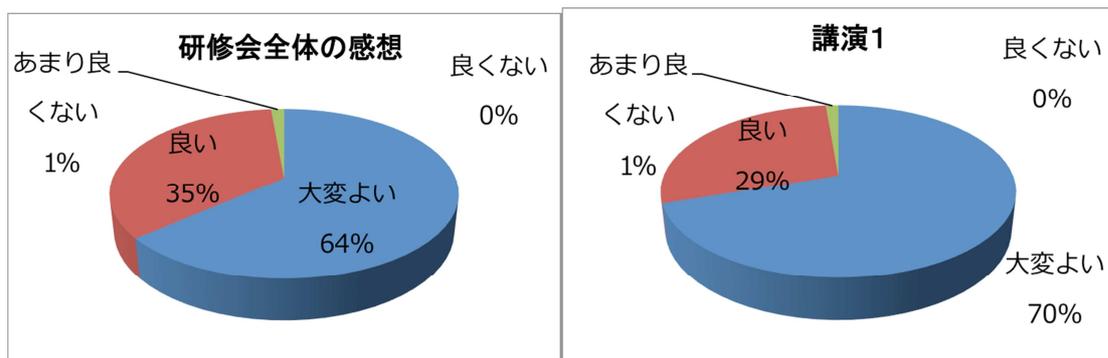
普段行っている術中の看護に理由づけができ、根拠に基づいた観察項目や看護についても多くの意見が出ました。



グループディスカッションの結果を4つのグループに発表してもらいました。

前半の講演が活かされており、個別性のある看護を考えて発表しているところが印象的でした。また、他施設と体温管理の実際についての意見交換や認定看護師との交流もあり、活発なグループディスカッションを行うことができました。

## アンケート集計結果



### 【受講者からのご意見】

- ・体温管理を行う根拠を学ぶことができ、知識が深まった。
- ・体温管理の重要性を知ることができた。
- ・他病院の取り組みを知り、自分の看護を見直す機会となった。
- ・グループワークで他病院の人と交流をもつことができよかった。
- ・認定看護師から色々なアドバイスが聞けてよかった。
- ・最後のビデオがよかった。次回も参加したい。

※ その他にも多くの意見を頂きました。今後も、実践で活かせる研修会を企画していきたいと考えていますので是非ご参加ください。お待ちしております

九州地区 手術看護認定看護師